



第1111号
2009年2月15日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

- ◇2月の代祷・信施奉献先
- ▽「信教の自由」を抑圧されて
いる人々のため(2月11日に近
い主日)▽ハンセン病問題啓発
の日(大齋節前主日の1週間前15
日)▽ぶどうのいえのため▽葛
飾学園(サンピエール・保育
園)のため▽浦安伝道所・浦安
宣教のため▽平和を実現するキ
リスト者ネットの働きのため▽
聖公会平和ネットワークのため
- ◆教役者レクイエム
2月18日(水) 10時半
- 説教 主教座聖堂
神崎和子司祭
- ▽司祭皆川晃雄▽司祭岡崎清蔵
▽主教材尾昇▽司祭栗飯原信
▽司祭遠藤義光▽司祭高松孝治
▽執事戸所芳一▽執事栗原素行
▽執事金井登▽伝道師多治見十

今週・来週の予定

2月15日~28日

- 15(日) 顕現後第6主日
モニカ会幹事会
(神学院)
- 17(火) 礼拝音楽委員会
月島~特別委員会
- 18(水) 教役者レクイエム
(主教座)
山手G 牧師協議会
(聖愛)
- 19(木) 主教座聖堂活動委員会
人権委員会
(聖バルナバ)
- 20(金) 城南G 牧師協議会
(真光)
- 21(土) 正義と平和協議会・
運営委員会
- 22(日) 大齋節前主日
- 24(火) 銀座朝拝会
- 25(水) 大齋始日・灰の水曜日
下町G 始日礼拝
(聖ヨハネ)
- 26(木) 信仰と生活委員会
港区芝公園委員会
(聖アンデレ)

- 郎▽伝道師深尾猪曾子▽主教小
笠原重二▽司祭山口千尋▽司祭
澤邦介▽司祭桑田繁吉
- ◆としえの平安
1月25日 鈴木ひさ子(90)
神田
- 2月2日 倉澤 一昭(67)
三光
倉澤 太郎聖職候補生尊父
- 2月2日 亀石 早枝(94)
田
- ▽信仰と生活委員会編(広報
委員会・宣教主事協力)「大齋節
期間中に行われるプログラム一
覧」次22日に発行・配布され
る予定です(各教会・礼拝堂・
施設掲示用)。一部の催事につ
いては小紙紙面でも案内・掲載
しますが、合わせてご参照・ご
利用ください。
- 広報委員会

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

「はたらけ! はたらけ! はくたら
け!」と鞭を持ったローマ人(年中さ
ん)の監視のもと、「えんやこれさ!」
と鶴嘴を振りかざし、石を運ぶ奴隷
(年少さん)、そしてヨセフ、マリアの
登場で始まるページェント。まこと保
育園では父母、職員

天使はいます。『恐れることはありません
ん。今宵、私たちの救い主がお生まれになり
ます』。マリアは『御心に従います』と力強
く答えます。子ども達の「せりふ」は役柄を
越えて自分の気持ちそのものとして大人達に
伝わってきます。

《恵みに生かされて》

必要な賜物

佐々木祐生

達とともに、神崎
チャプレン司式でク
リスマス礼拝が行わ
れます。まことの保
育方針は「いろいろ
な人の中で育つ保
育」を掲げ、その一つに「両親や職員

今回の私の目を釘付けに
したのは羊飼役のコウ
ちゃんでした。彼は言葉の
遅い、気になる子として2
歳児から入園しました。大
きな口をあげ、元気に歌っ
ている姿を見ながら思わ
ず、『やったね、コウちゃ
ん』と心の中で叫ぶほどの感動を頂きまし
た。神様はひとり一人に必要なすべての賜物
をそなえてくださっている恵みを感謝し、職
員父母が共に支えあい、学び合うことの大切
さを確信した、素敵な礼拝でした。

も共に育つ」があります。大人も子ど
もの姿から気づかされ、学び、育てら
れるという相互関係を重視しておりま
すが、もつとも顕著に実感できるのが
前述のクリスマス礼拝です。

(聖教主福祉会まこと保育園・園長)

▽下町教会グループ《大齋日・灰の水曜日の礼拝》 2月25日(水)19時・浅草聖ヨハネ教会。同グループ教役者による司式・補式、神崎雄二司祭説教。他教会グループの方々の参加も歓迎。会場Ⅲ03(3851)9521。

▽ナザレ修女会《黙想会》 26日(木)10時半聖餐式〜15時

公 示
日本聖公会東京教区第108(定期)教会会を下記のように招集します。

救主降生2009年2月3日
日本聖公会東京教区教会会
議長 主教ペテロ植田仁太郎

記

日時 2009年3月20日(金・休日)
午前9時から午後5時まで
場所 開会聖餐式
聖アンデレ主教座聖堂
議場 聖アンデレホール
東京都港区芝公園3-6-18

書記を次のように任命する。

司祭	ビード	李	民	洙
執事	パウロ	中村	以	上

(夕の祈り・お茶)。講師・大郷博司祭(高山・あぶらむの会)。携行Ⅱ祈禱書・昼食。申込期限 16日(月)。Ⅲ0422(48)4560。
▽台東九条の会・南部地区の集い 19日(木)19時、浅草聖ヨハネ教会で。「家族生活の中に生きる憲法」憲法第24条をめぐって身近にある問題から」

お話・村田智子(クラマエ法律事務所弁護士)。照会Ⅲ03(5815)8586。

【大齋節公開プログラム】1

▽聖マーガレット教会『みことばを、今、生きる』3月1日以降の全主日6回・各13時 ①みことばへの呼応・田光信幸司祭、②8日黙想と祈りの集い・植松功他青年有志(③以降は3月号で掲載) ▽聖ヨハネ教会『お話を聴く会』活動の現場では今、なにが…』①1日13時15分・渋谷給食活動…、その周辺から見えてきたもの・楡原民佳、②8日同刻・辺野古への研修参加…、そこで見てきたもの・平野由紀子。「信仰と生活委員会編『大齋プログラム一覽』参照(4面で関連記事)」

【クローズアップ】5 教会の将来計画

アンケートと意見交換会から① 昨年の秋、教区内の全教会・礼拝堂を対象に「教会の将来計画に関するアンケート」を行い、32の教会・礼拝堂・集会所から回答をいただきました。紙面をお借りして御礼申し上げます。

教区企画室は、それぞれの教会が現状を分析し、将来に向けての計画的な取り組みをするようにとお願いしてきました。いくつかの教会では、かなり以前からそのような取り組みをしておられました。そこまでは行かない教会もまたありました。そこで、各教会の取り組みをお互いを知るための機会として、アンケートと将来計画担当者の

意見交換会を行ったのです。

個々の教会は、その歴史も置かれていた状況も様々ではありません。しかし、いくつかの共通の課題や問題をみることできました。それは、たとえば信徒数の伸び悩み、高齢化と礼拝出席者の減少、献金額の減少であり、信徒の家族への働きかけが奏功しないといったことでした。また、建物の修繕や新築・改築を迫られている教会も少なからずありました。

そうした中で、「教区全体としての教会の配置や、ある程度の規模の教会にするための合併や移転を積極的に考えてもよい」という地盤はある」との回答が目を引きました。しかしこの問題は、総論賛成、各論反対になり

がちなテーマでもあります。実際、アンケートの回答でも、他の教会との連携や協働、移転や統廃合には消極的な意見が多く、そうした意見は小さな教会ほど多くみられました。

現在の場所で、地域社会への働きかけを重視しているとの回答は多くありましたが、それがうまくいって、教勢の拡大にまで結びついているところは多くありません。教区の限られた資源(人、物、金、時間)を有効に活用するためには、抜本的な取り組みが必要で、残された時間は多くありません。現状を見据え、将来につなげる工夫が求められています。

教区企画室座長

古谷野 亘